

# 防衛北海道

Bouei Hokkaido  
August 2013  
Hokkaido  
Defense Bureau  
Ministry of Defense



Vol.29



Photo: (上) 函館基地隊に所属する第45掃海隊の整備員

(写真提供: 海上自衛隊函館基地隊)

(下) 函館港から訓練海域へ出港する第45掃海隊の掃海艇「ゆげしま」

編集・発行 **防衛省北海道防衛局 広報誌等編集委員会**  
札幌市中央区大通西12丁目 札幌第3合同庁舎  
Tel.011-272-7579  
<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>

# 防衛省北海道連絡協議会 ～防衛省の各機関等相互の連携強化～



北海道防衛局



陸・海・空自衛隊

5月28日、北海道防衛局において、当局と北海道を管轄する陸・海・空各自衛隊により構成される防衛省北海道連絡協議会が、当局、北部方面総監部、大湊地方総監部、北部航空方面隊司令部及び第2航空団司令部の各部長等、約30名が参加して開催されました。

この協議会は、防衛省の施策・政策を実現するに当たり、北海道における防衛省の各機関等が相互に連携協力し、総合的に対応することを目的として、平成20年から開催しているものです。

本協議会では、各機関の特性・主業務を理解したうえで議論できるよう、まず、第1部として各機関の業務内容や各種事業の紹介を行い、続いて、第2部として協議会のメインとなる特定のテーマについて議論し、最後に、第3部として自由意見の交換を行いました。

今回、第2部では、国民に自衛隊の活動をより深く理解していただくための広報の在り方について「国民に対する防衛知識の普及のための諸活動」をテーマに、各機関の諸活動の現状について理解を深めつつ、今後、各機関が連携協力できるものは何か、どのような対応ができるか等について活発な議論を交わしました。

また、第3部では、本協議会をより有効に活用していくための在り方、来年度の本協議会開催に向けての議題の選定等についての意見交換を行いました。

今回の会議における、各機関相互において、広報活動における連携協力の必要性、重要性を再確認するとともに、今後、各機関が共有できる事項を具体化し、より効果的な成果を得ることができる広報としていくことを確認しました。



協議会の状況

## 平成25年度 北海道基地協議会総会

北海道内に駐留軍及び自衛隊が所在し、若しくはその周辺の公共団体をもって組織する「北海道基地協議会」（会長：山口幸太郎千歳市長）の平成25年度総会が5月27日沼田町で開催され、道内加盟自治体11市13町の首長等のほか、防衛省地方協力局から谷井淳志地方協力企画課長、北海道防衛局から島川正樹局長及び総務省、北海道などから合わせて約30名が出席しました。

この会は、自衛隊基地関係の共通問題の調査研究及びその具体的解決策等について関係団体と連携を保ち、関係住民の生活安定及び福祉の向上を推進することを目的としています。

総会の冒頭、山口会長は、「本総会において考えなければならない面として、北海道における自衛隊の存在の重要性を挙げ、地方自治体の力が及ばない大災害発生時には、自衛隊の強大な装備や人員に頼らざるを得ないこと、また一方で、自衛隊が存在することによる障害を乗り越えるため、関係者と課題を共有しながら、防衛施設の安定的かつ継続的な使用を行うため、地域住民の理解を得るには、施策のきめ細かな実施が求められている。」と述べられました。

続いて、開催地である沼田町の金平嘉則町長が、「誘致活動から約20年、平成2年3月陸上自衛隊北海道補給処沼田弾薬支処及び沼田分屯地が設置され、今日まで地域の安全・安心が守られ、地域住民と密接な関係を保っている。3大あんどん祭りである夜高あんどん祭りには、毎年大勢の隊員の参加協力を頂いている。」と挨拶されました。

この後、谷井課長から平成25年度予算に係る防衛省が所管する基地周辺対策経費について、総務省自治税務局固定資産税課の植松課長補佐から総務省が所管する基地交付金及び調整交付金についてそれぞれ説明が行われました。

議事では、基地関係予算等の確保に向けた要望運動などを盛り込んだ4議案が原案どおり承認されました。

また、議事後、参加者は陸上自衛隊沼田分屯地（北海道補給処沼田弾薬支処）を訪問し、部隊から業務概況説明を受け、自衛隊に対する理解をより深めました。



谷井地方協力企画課長

協議会総会

山口会長(千歳市長)

金平沼田町長

### 矢臼別演習場における沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練時の演習場外着弾事故について

矢臼別演習場において沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練が6月10日から21日までの日程で実施されましたが、6月11日9時40分頃に発射された155ミリりゅう弾1発が演習場内の着弾地を外れ演習場から約500m離れた国有地に着弾するという事故が発生しました。

この事故により、地元自治体の皆様方を始め周辺の住民の方々に大変な御不安、御心配をおかけしたことににつきまして、深くお詫び申し上げます。

北海道防衛局としましては、本実弾射撃訓練の実施に当たっては、地元の御理解と御協力を得ることは重要と考えており、引き続き米軍に対し射撃訓練時の安全確保について要請するなど地元の皆様の御不安、御心配が解消されるよう今後も努めてまいります。



## 陸上自衛隊 北部方面總監部 ～ 強まる地域との連携 ～

### 「留守家族支援に関する協定を自治体と駐屯地間で締結」

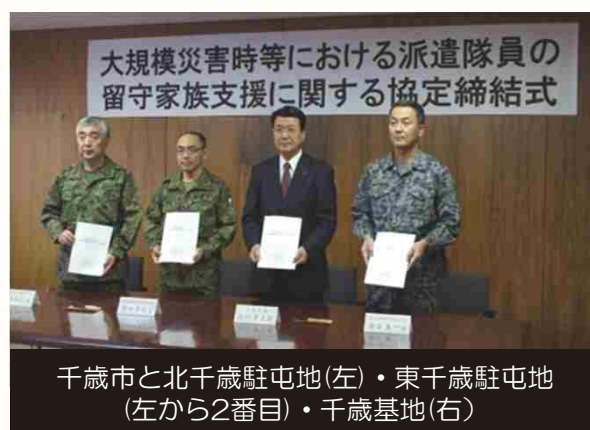
北部方面隊（總監 岩田清文陸将）の各駐屯地は、大規模災害時等に隊員が派遣されることを想定し、関係自治体と隊員の留守家族支援に関する協定を締結しています。

昨年の千歳市と同市所在駐屯地との協定締結に引き続き、今年に入って登別市、留萌市、美幌町、恵庭市と所在駐屯地が新たに協定を締結しました。

協定は、各駐屯地の活動に対する地元自治体の御理解・御協力の下、地元自治体が派遣隊員家族のための窓口の設置や子供の一時預かり保育、健康医療相談などについて支援することが盛り込まれ、これにより、各部隊・隊員は心置きなく迅速に派遣先で活動することが期待できます。

#### 〈主な支援内容〉

- 部隊内に開設する子供の面倒を見る施設の設置及び保育に係る助言・指導
- 派遣隊員の子弟のための保育所の入所に関する相談・調整
- 派遣隊員の子弟のための一時預かり保育利用の仲介
- 派遣隊員の高齢者・障害者家族が福祉サービスを受けるための支援
- 派遣隊員の留守家族の健康、栄養又は医療に関する相談



## 海上自衛隊 函館基地隊 ～第45掃海隊北海道周回行動～



函館基地隊に所属する第45掃海隊は、連日連夜訓練に励むとともに、毎年夏から秋にかけて北海道の周回行動を実施しています。

寄港地は毎年異なりますが、大きな護衛艦が入港できない港にも寄港し、次に示す目的を達成するため乗員一同任務に励んでいます。

北海道周回行動の目的は、

- 1 即応態勢構築に資するため港湾の資料等を収集
- 2 地方公共団体の実施する防災訓練等に参加し、災害派遣要領及び関係機関との共同対処要領を演練
- 3 各寄港地において艦艇広報を行い、地域住民の海上自衛隊に対する、より一層の理解を得る

というものです。

また、時期的に各寄港地において夏祭り等に参加することも多く、乗員もこの周回行動を楽しみにしています。

この周回行動は、地味な任務ではありますが、北海道の安全を確保するため日夜頑張っている掃海隊の活動に御理解いただくとともに、応援くださるようお願いいたします。



北海道周回行動中の掃海艇「とびしま」

## 航空自衛隊 「当別分屯基地」 第45警戒群



航空自衛隊当別分屯基地は、石狩平野の北部にあり、札幌市の北東約30Km、標高418mの阿蘇岩山の山頂及びその周辺に位置しています。

航空自衛隊の中で最も雪の積もる基地であり、冬季は常に2mから3m程度の積雪があります。一晩で乗用車が隠れてしまうほど雪が降る日もあり、豪雪への備えも重要な仕事の一部といえます。

また、隊員が休暇を取得し、除雪困難な一人暮らしのお年寄り宅の除雪をお手伝いするなど、豪雪地ならではのボランティア活動も積極的に行っています。

当分屯基地は、昭和34年11月、米空軍から防衛庁（当時）へ移管され、航空自衛隊による運用が開始された後、幾度かの改編を経て昭和36年7月、現在の北部航空警戒管制団第45警戒群が編成されました。

当群は、8個警戒群、20個警戒隊からなる航空自衛隊警戒管制部隊の一部であり、レーダーにより主に領空に接近する航空機又は弾道ミサイルを探知するため365日24時間休むことなく警戒監視を行っています。

隊員は、意識を常に高く持ち、崇高な使命感と全国でも数少ないBMD（弾道ミサイル防衛）対応サイトであることへの誇りを胸に日夜勤務しています。



隊員による除雪ボランティア活動



警戒監視レーダー

北海道には自衛隊等が使用する演習場・飛行場など、数多くの防衛施設が所在しています。

これらの防衛施設は、自衛隊等の活動の基盤として、北海道はもとより我が国の平和を守る上で不可欠であり、そのため、周辺地域の皆様の御理解と御協力を得ながら円滑に使用していく必要があります。本誌では、防衛施設と周辺地域との調和を図るための様々な施策について、シリーズで御紹介しています。

## ■ 管理部業務（その2）

今回は管理部施設補償課の主な業務について御紹介します。

### 施設補償課の主な業務（漁業補償）

#### 1 漁業補償の概要

自衛隊又は駐留軍が海面を使用して訓練等を行うために、法律又は関係漁業協同組合等との契約により、一定の水域について期間を定めて漁船の操業を制限若しくは禁止又は漁業権等の行使制限等を行うことができます。

当局は、この制限又は禁止等により従来適法に漁業を営んでいた者が漁業経営上被った通常生ずべき損失について補償を行っています。

##### 【参考：適用法律】

自衛隊による場合：自衛隊法（昭和29年法律第165号）第105条第1項

駐留軍による場合：日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約に基づき日本国にあるアメリカ合衆国の軍隊の水面の使用に伴う漁船の操業制限等に関する法律（昭和27年法律第243号）第1条

#### 2 管内の制限水域

現在、当局管内では、静内対空射場水域、浜大樹訓練海面及び天塩訓練海面の3か所について制限水域を設定し、全国の自衛隊各部隊による訓練に使用されています。

これら各制限水域の設定に際しては、毎年、関係漁業協同組合等と調整を図り、当該組合等から同意を得て行っています。

##### (1) 静内対空射場水域（北海道日高郡新ひだか町静内浦和地先）

本水域は、法律に基づき設定され、自衛隊が使用する制限水域として国内最大の面積（1,256km<sup>2</sup>）を有し、一区域（半径40kmで中心角90度の扇形区域）と二区域（半径20kmで中心角90度の扇形区域）があります。

今年度は127日の制限期間において、81式短距離地对空誘導弾（短SAM）を始めとする各種誘導弾及び87式自走高射機関砲等による対空射撃訓練並びに無人偵察機による飛行訓練が行われます。



81式短距離地对空誘導弾（短SAM）の射撃

#### 北海道防衛局管内の制限水域の位置



(2) 天塩訓練海面（北海道天塩郡天塩町字更岸地先）

本海面（面積1.7km<sup>2</sup>）は、契約により設定され、今年度は90日の制限期間において、94式水際地雷敷設装置（水陸両用車）による航行訓練及び水際地雷敷設訓練並びに多用途ヘリコプターによる水際地雷散布訓練を行っています。

(3) 浜大樹訓練海面（北海道広尾郡大樹町字浜大樹地先）

本海面（面積52km<sup>2</sup>北部方面施設隊が）は、契約により設定され、今年度は7月8日から10日までの制限期間において、沖合の海上自衛隊輸送艦から発進したエアクッション艇（LCAC）により戦車等の車両及び人員を揚陸する訓練が行われたところです。

3 損失補償申請と補償額

損失補償については、損失を受けた漁業者が損失補償申請書を当局（静内対空射場水域は北海道知事経由）に提出し、当局は当該申請について補償すべき損失の有無を調査し、補償すべき損失があると認めたときは算定基準により当該損失補償額（漁業補償額）を算定して行うこととなります。



94式水際地雷敷設装置（水陸両用車）の航行



エアクッション艇(LCAC)で揚陸する90式戦車

# 「防衛北海道」を配布

北海道防衛局は、防衛省の政策及び施策について広く国民の皆様にご理解を頂くため、北海道内に所在する駐屯地等の記念行事において、広報用ブースを設け広報誌「防衛北海道」を配布しています。

広報誌「防衛北海道」のほかに、自衛隊の海外派遣活動、防衛省職員採用の案内等の各種パンフレットも用意していますので、御来場の際は、是非、北海道防衛局ののぼり旗を目印にお立ち寄りください。



5/26 真駒内駐屯地



5/26 真駒内駐屯地  
大人気の「モコ」  
(札幌地方協力本部所属)



6/2 東千歳駐屯地



6/16 留萌駐屯地  
地元の高校生が戦闘服  
姿で訪ねてくれました。



目印は  
のぼり旗



6/23 釧路駐屯地  
こちらも大人気「ピッキー」  
(帯広地方協力本部所属)

記念行事  
に行くとかわいい  
ゆるキャラ  
に会える  
かも！

広報活動実績及び予定

- 5/26 真駒内駐屯地59周年・第11旅団5周年記念行事
- 6/ 2 東千歳駐屯地59周年・第7師団58周年記念行事
- 6/ 9 旭川駐屯地61周年・第2師団63周年記念行事
- 6/16 留萌駐屯地60周年記念行事
- 6/23 釧路駐屯地60周年記念行事
- 7/ 7 倶知安駐屯地58周年記念行事
- 7/21 静内駐屯地49周年・第7高射特科連隊32周年記念行事
- 8/ 4 千歳基地航空祭
- 8/25 函館駐屯地63周年記念行事
- 9/ 7 帯広駐屯地62周年記念行事
- 10/ 5 丘珠駐屯地60周年記念行事

## 北海道内の防衛施設

### 道場巡り～道内唯一の水際訓練道場～ 天塩訓練場（天塩町）

本シリーズは、日頃なかなか目に触れることの少ない防衛施設にスポットを当て、皆様に御紹介するものです。

陸上自衛隊天塩訓練場は、北海道北部の日本海に面し天塩郡天塩町に所在する水際障害訓練場で、留萌駐屯地業務隊が管理しています。

この訓練場は、全国所在の水際障害中隊（全5個中隊）が海上において水際障害訓練を実施するため使用しています。

水際障害訓練とは、水際地雷敷設装置（水陸両用車）及び多用途ヘリコプターを使用して、海岸の水際付近に海上からの侵攻を食い止めるため対舟艇用地雷の模擬地雷を敷設したり、模擬地雷を除去したりする訓練です。

訓練に使用する水際地雷敷設装置は、水陸両用車という特性を活かし、災害発生時に海陸からの救難物資輸送や海上での人命救助にも活用できる装備品です。

また、平成20年度に、この訓練場から約700m離れた天塩町有地である国道232号線隣接地（約3万m<sup>2</sup>）を訓練場用地として購入し、平成28年度からの試験運用を目的に、平成21年度から逐次整備が行われています。

さらに、同町内では、北海道内に所在する普通科、野戦特科、通信科部隊のほか、各種訓練を実施するとともに天塩川では北部方面施設隊が渡河訓練、通信訓練等を年間を通して実施しています。



94式水際地雷敷設装置（水陸両用車）



天塩訓練場



各種渡河器材による訓練状況（写真提供：北部方面総監部）

### 防衛施設所在の首長さんからのメッセージ



天塩町  
浅田町長

自衛隊の皆様には、我が国の平和と安全のために日頃から厳しい訓練の下、国の防衛を始め災害派遣、国際平和協力業務、国際緊急援助活動など幅広い御活躍に敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

天塩町は、北海道北部の日本海に面し、母なる大河天塩川の河口に拓けた人口約3,500人、面積353.31km<sup>2</sup>を有し、古くから海・川・森林資源等を基盤として栄えた町であります。

本地域の農業は、気象・立地条件から恵まれた自然条件を生かした酪農が振興され、重要な基幹産業として成長を遂げました。

漁業においては、さけ・ますのほか、しじみは身の大きさ、味など特別の評価を頂き天塩町のシンボリック的存在です。更に現在では様々な特産品が開発されており、中でも「ChuChuプリン」は、年間20万本を売り上げる天塩のブランド商品です。

また、新たに「しじみラーメン」も開発され大ブレイクの予感を感じております。観光においても成分の個性的な温泉や道の駅などは、多くの観光客に利用されております。

天塩町は、64年の長きにわたり、自衛隊誘致について、官民一体となった運動を展開しております。

自衛隊の訓練は、地形的な条件を利用した水際障害訓練・渡河訓練を始め、自衛隊新器材の技術試験、レンジャー訓練、測量訓練、通信訓練、ミサイル艇、掃海艇の入港など数多くの訓練が行われております。

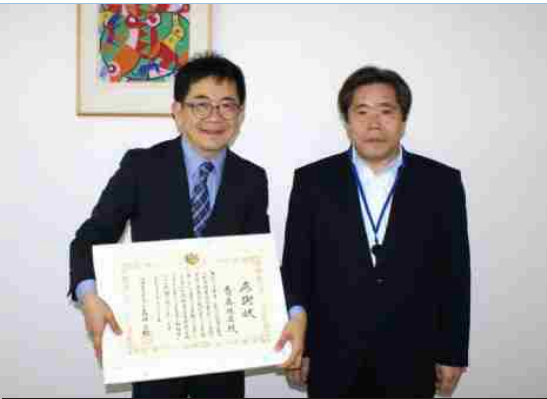
今後においても自衛隊のいる町づくりとして、自衛隊の皆様が国防の道場として立派な訓練成果につながる良質な訓練場環境整備にしっかり取り組み、地域との共存共栄・互恵関係をますます深められるよう努めてまいりたいと存じます。



## 入札監視委員会委員へ局長感謝状贈呈

平成25年5月27日、北海道防衛局入札監視委員会委員を退任される齋藤隆広委員に長年の委員としての貢献に対し、北海道防衛局長から感謝状を贈呈(総務部長から手交)しました。

齋藤委員は平成18年7月から現在に至るまでの7年間にわたり、入札監視委員会委員を勤められ、北海道防衛局及び管轄区域に所在する他の契約実施機関が実施する入札及び契約について、入札及び契約の過程並びに契約の内容の透明性を確保するために、毎年各四半期毎(年8回)開催の委員会の審議において、的確な意見・アドバイス等を頂くなど、その功績は多大なものがありました。



齋藤委員・総務部長

## 優秀工事等に顕彰状贈呈

7月1日、北海道防衛局及び帯広防衛支局において優秀な工事等を施工した業者に顕彰状が贈呈されました。

優秀工事等の顕彰は、平成21年度から当局が発注する建設工事等に関し、工事等の目的物の出来形又は品質の優れているものであって、他の模範とするにふさわしいものを優秀工事等として選定し、顕彰しているもので、本制度は、優秀工事等を顕彰することにより入札参加者の受注意欲を高め、工事目的物の品質確保を図る等施設取得の円滑な推進に資することを目的としています。

今年度は、平成24年度に完成した建設工事等から、北海道防衛局においては下記の3工事が、また、帯広防衛支局においては下記の1工事及び1現場代理人が選定され、北海道防衛局調達部長及び帯広防衛支局長から、それぞれ顕彰状が贈呈されました。

これらの工事等は、積極的な技術提案によって品質の向上が図られたものや、部隊が運用中のため施工可能時間が制約される中で密な工程管理を行い完成したものであり、いずれの工事も優れた出来映えでありました。

なお、顕彰実績は、入札の総合評価方式における企業の施工能力の評価項目において、本年度を含む3年間、評価点が加点されます。



北海道防衛局優秀工事等顕彰受賞者



帯広防衛支局優秀工事等顕彰受賞者

### 顕彰対象工事及び顕彰受賞者（敬称略）

#### 北海道防衛局

対 象 工 事	施 工 業 者	受 賞 者	
静内（23）整備工場新設等建築工事	住拓工業(株) [苫小牧市]	代表取締役	瀬尾 清
襟裳（23）総合訓練場新設土木その他工事	(株)福津組 [古平町]	代表取締役社長	福津 隆範
近文台外（23震災関連）ボイラー更新等機械その他工事	(株)飯塚設備 [旭川市]	代表取締役	飯塚 達夫

#### 帯広防衛支局

対 象 工 事	施 工 業 者	受 賞 者	
帯広（23）局舎新設等電気その他工事	川岸電設(株) [帯広市]	代表取締役 現場代理人	川岸 哲夫 広瀬 拓也



# 平成25年度 自衛官等募集



募集種目	航空学生	一般曹候補生	自衛官候補生		防衛大学校			防衛医科大学校		
			男子	女子	推薦	総合選抜	一般(前期)	医学科	看護学科	
応募資格	高卒(見込) 21歳未満の者	18歳以上27歳未満の者			高卒(見込) 21歳未満、 学校長推薦者	高卒(見込)21歳未満の者 (自衛官は23歳未満)		高卒(見込)21歳未満の者		
受付期間	8月1日 ～9月6日	8月1日 ～9月6日	年間を通じ受け付けています。 詳しくは、最寄りの自衛隊地方協力本部 にお問い合わせください。		8月1日 ～9月6日	9月5日～9日		9月5日～30日		
試験期日	1次:9月21日 2次: 10月12日 ～17日 3次:11月9日 ～12月12日	1次: 9月16日・17日 2次: 10月5日 ～11日			9月22日 ～26日	9月28日・ 29日	1次:9月28日 2次: 11月2日・3日	1次: 11月9日・10日 2次: 12月10日 ～14日	1次: 11月2日・3日 2次: 12月18日 ～20日	1次: 10月19日 2次: 11月30日・ 12月1日
合格発表	1次:10月4日 2次: (海)11月6日 (空)11月1日 最終: 26年1月22日	1次:9月30日 最終:11月8日			11月 8日	11月 1日	1次: 10月18日 最終: 11月29日	1次: 11月29日 最終: 26年1月21日	1次:12月3日 最終: 26年2月19日	1次: 11月15日 最終: 26年2月7日



札幌地方協力本部  
011(631)5472



函館地方協力本部  
0138(53)6241



旭川地方協力本部  
0166(51)6060



帯広地方協力本部  
0155(23)2485

◆募集コールセンター



自衛官募集ホームページ  
<http://www.mod.go.jp/gsd/f/jieikanbosyu/>

自衛官募集 検索

自衛官募集携帯サイト



## 8月～9月 道内自衛隊の主なイベント

(7月16日現在)

開催日	開催場所	イベント名	お問い合わせ
8月 3日(土) ・ 4日(日)	函館港町埠頭	艦艇広報(函館) 演奏会(大湊音楽隊)	函館地方協力本部 0138-53-6241
	苫小牧港	艦艇広報(苫小牧)	札幌地方協力本部 011-631-5477
8月 4日(日)	千歳基地	千歳基地航空祭	千歳基地監理部広報室 0123-23-3101
8月25日(日)	函館駐屯地	函館駐屯地創立63周年記念行事	函館駐屯地広報室 0138-51-9171
	別海駐屯地	別海駐屯地創立48周年記念行事	別海駐屯地広報班 0153-77-2231
9月 7日(土)	帯広駐屯地	第5旅団創立9周年・ 帯広駐屯地創設62周年記念行事	第5旅団司令部 総務課広報班 0155-48-5121
9月 7日(土) ・ 8日(日)	室蘭港	艦艇広報(室蘭)	札幌地方協力本部 011-631-5477
9月 8日(日)	南恵庭駐屯地	南恵庭駐屯地創立61周年・ 北部方面施設隊創設5周年記念行事	北部方面施設隊広報班 0123-32-3101
9月14日(土)	北恵庭駐屯地	北恵庭駐屯地創立63周年記念行事	第1戦車群広報 0123-32-2101
9月14日(土) ～16日(月)	石狩湾新港	艦艇広報(石狩)	札幌地方協力本部 011-631-5477
9月21日(土)	足寄分屯地	足寄分屯地創設20周年記念行事	足寄分屯地 0156-25-5811
9月29日(日)	標津分屯地	標津分屯地創設56周年記念行事	標津分屯地 0153-82-2145

